

外来診療のごあんない

診療時間	月	火	水	木	金	土日・祝
9:00 ~ 12:00 (受付 8:30~11:30)	渡邊 裕志	渡邊 裕志	渡邊 裕志	成田 渉	今田 元	休診
午後	休診					

新患を含め、外来リハビリをご希望の方は**完全予約制**です。  
事前にお問い合わせください。



予約・お問い合わせ **022-351-8118**

[受付時間] 9:00 ~ 17:00 (月~金)

編集後記

あんなに長かった夏も忘れるくらいに肌寒い日々ですね。カレンダーもまもなく残り1枚。2024年も終わりに近づいていることに驚いています。患者様が毎日一生懸命リハビリに励む姿に元気と刺激をもらいながら、私も1日1日を大切に積み重ねなくてはと背筋が伸びる思いです。

Link26号はいかがでしたか？当院について普段見えないことなど少しでもお伝えできたら、という思いで作成しています。次号もお楽しみに！

当院のホームページをリニューアルしました♪  
下記のQRコードよりご覧ください😊



仙リはいいききファームでは大根がすくすく育っています！

地域医療連携室 大川

医療法人社団脳健会  
仙台リハビリテーション病院  
地域医療連携室

〒981-3341 宮城県富谷市成田1-3-1  
Tel: 022-351-8118 (代表) 022-346-8497 (直通)  
Fax: 022-351-8126  
ホームページ: <http://www.sendai-reha.or.jp>



仙台リハビリテーション病院  
ホームページ

[関連病院]  
仙台東脳神経外科病院  
〒983-0821  
宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12-1  
Tel: 022-255-7117 Fax: 022-255-7760

発行元



Link!

2024.11 Vol.26



Topics 病院機能評価の認定を受けました

Notice 口腔管理体制の整備について

回復期リハビリテーション病院に勤務して —これまで、そしてこれから—

漸く猛暑の夏と厳しい残暑が過ぎ、朝晩の涼しさに秋の深まりを感じる季節となりました。“天高く馬肥ゆる秋”澄み渡った高い青空と農作物の収穫は、どうしても読書やスポーツより食欲へと私を誘い鍋料理が恋しくなるのは私だけでしょうか。どちらにしても、短い秋を満喫したいものです。

閑話休題、縁あって令和4年4月に入社し、これまでリハビリテーションに全く関わることの無かった私にとっては、正にゼロからのスタートでした。それから早2年が経過し3年目を迎えたところです。

当初は、職場環境に早く慣れるようスタッフとのコミュニケーションを図ろうにも、コロナ禍真っ只中のこともあり、マスクを着用している顔と名前を一致させることに大変苦慮しました。

翌年、病院にとって一丁目一番地の目標は、回復期リハビリテーション病院として病院機能評価機構の本体審査「リハビリテーション病院」と、高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を同時に受審し認定を取得することでした。キックオフから1年以上、勝手の分からない状況下で足を引っ張ることの無きようスタッフと準備を重ねてきました。受審も何とか無事に終え合格の知らせを聞いた時は、歓喜の余韻に浸る間もなくホッと息を吐きました。ご支援、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。全職種が一丸となった取り組みは、院長を中心に更に職員との団結を深めたように思います。また、これを機に薬剤師がカンファレンスへ新たに参加することにもなりました。

第三者機関である病院機能評価機構からの認定取得は、今後も継続的な改善に取り組んでいくことを公にした証とも言えます。

これまで各職種による日々の取り組みを見聞きし、更に病院機能評価受審を通しリハビリテーション医療における薬剤師の役割について問い続けてきました。

一つには、患者さんが安心して薬物治療を受けられるよう医療チームとして有効かつ安全な薬物療法を提供することです。そのためには、禁忌・副作用・相互作用等のリスク評価や嚥下機能に応じた投薬方法、剤型の選択、簡易懸濁法などに関する情報を多職種間で共有することです。更に、退院後の日常生活や社会生活を見据え再発予防として服薬アドヒアランスの向上を支援したいと考えています。これら情報の質向上を図る必要性を痛感しています。

二つには、患者さんが安全にリハビリテーションを受けられるよう支援することです。当院においても患者さんの高齢化は否めず、加齢による生理的老化の進行により肝機能や腎機能等の低下に加え併存症による多剤併用は、薬剤による有害事象等を起こし易くポリファーマシー\*といった問題を孕んでいます。まだまだ十分とは言えませんが、薬剤による身体機能へのリスクを評価し、情報を多職種間で共有することによりリハビリテーションが安全かつ効果的に実施され、患者さんの機能回復等に貢献できればと思っています。

最後に、チーム医療の一員として、その信頼に応え患者さんの未来に貢献したいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

\*ポリファーマシー：単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象の増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態

薬剤室長 遠藤 武弘

## 病院機能評価の認定を受けました

本年5月、当院は公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を受けました。受審前から院内のリハビリテーションに係る取り組みは十分なされておりましたが、これを文書化したり、マニュアルを作成するなど、系統立てて形式的にまとめるのに、1年半を要することとなりました。医局や看護部、リハビリ部など部署を横断してこれらを整理する点では非常に苦労しましたが、受審までのプロセスで、今まで話し合われてこなかった業務協業の検討や、各々の職種のアイデンティティの交じらいが深まり、大きな目標の中で職種間のつながりがより強くなりました。認定証を頂戴したこともさることながら、職員の一体化が図られたことは、私たちにとっての大きな財産となりました。

今回私たちが認定を受けたのは、本体審査「リハビリテーション病院」と、高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」の2種です。「リハ

ビリテーション病院」の認定は県内1病院のみ、高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」は比較的新しいカテゴリーということもあり県内初、全国でも53病院のみが有する認定です。

名実ともにリハビリテーション病院の仲間入りを果たした当院、この認定に恥じる事のないよう、これからも質の高いリハビリテーションを提供して参ります。



病院機能評価委員会 副委員長  
リハビリテーション部 部長 榊 望

## 仙リハ コラム

## 大連市訪問団の皆さまが 来られました



10月、中国の大連市の方々が当院へ視察のため来院されました。大連市内にリハビリテーション施設を新設する計画があり、設備やプログラムなどを参考にされることが目的のことです。院長、リハビリ部長、看護部長からの説明とともに、リハビリテーション室や病棟などをご見学いただきました。

## 口腔管理体制の整備について

今年度から当院では入院患者さんの口腔管理体制を強化しています。今回はその取り組みを紹介させていただきます。

回復期リハビリテーション病院における口腔管理体制の整備は、患者さんの全身状態の改善やリハビリの効果を高めるために非常に重要です。「リハビリ」と「栄養管理」と「口腔管理」は密接に繋がっており、口腔内の清潔を保つことで肺炎やその他の感染症のリスクを減少させます。加えて口腔機能（噛む力など）が改善されることで、食事の摂取が容易になり栄養状態が向上するためリハビリの効果を最大限発揮できる状態となります。

具体的な取り組みとして、看護師を中心に入院時に患者さんの口腔内を評価し、治療の必要があれば

富谷市の「あかね歯科」と連携し、訪問診療で入院中に義歯の調整や虫歯の治療を行っています。直接的な治療だけでなく、歯磨きの方法についても歯科衛生士と看護師の間で情報共有を行い、口の衛生状態の改善にも努めています。

入院中、安心しておいしく食事をとれるよう口腔の面からもサポートし、リハビリに集中できる環境を引き続き整備していきたいと思えます。



寺嶋茜先生と、歯科衛生士の中鉢様です。素敵な笑顔で診療していただいています！



リハビリテーション部 言語聴覚療法士主任 菅原 直也



## ご質問にお答えします！



**Q** 入院費はいつ分かりますか？

**A** 毎月12日以降に前月分の請求書をお渡しできます。請求書は、各病室への配布はしておりません。請求書の受け取りやお支払いについては1階会計窓口へお越しください。

**Q** 病院に意見や提案があるときはどうしたらいいですか？

**A** 医療相談員など、スタッフまで遠慮なくお申し出ください。ほか、1階（電話ボックス内、ラウンジ）、2階/3階病棟（デイルーム）にご意見箱を設置しています。入院や外来の患者様、通所リハ利用者様、ご家族の皆さまもご利用ください。

